



マップA (日本橋)

日本橋を渡ってみよう

- 江戸時代の日本橋の長さ、約何メートルだったでしょうか。
- あ 25メートル
  - い 51メートル
  - う 80メートル

【あ】に当てはまる言葉を考えましょう。

また、抜けているところに線を描いて橋を完成させましょう。

## A 江戸の日本橋

江戸東京博物館の常設展示室に入ると大きな橋がかかっています。これは、江戸時代につくられた日本橋の幅はそのままに、長さを半分にして復元した模型です。日本橋がかかれたのは、徳川家康が江戸に幕府を開いた1603年のことです。日本橋は、発展する江戸の象徴でした。

日本橋の名の由来にはいろいろな説がありますが、「諸街道」の起点として、日本の中心と考えられたからではないかといわれています。

【あ】に当てはまる言葉を考えましょう。

また、抜けているところに線を描いて橋を完成させましょう。

- 写真の★で示したものは、屋根の上に設置された「天水桶」と呼ばれるものです。ここには雨水がためられていますが、何のために使われたと思いますか。当てはまるものを書きましょう。
- あ 水不足
  - い 農業
  - う 消火



マップB (中村座)

## B 芝居小屋・中村座

日本橋の脇に見える建物は、江戸時代の代表的な歌舞伎の芝居小屋である中村座の正面部分を復元した模型です。ここでは、人々が日常を忘れて歌舞伎の世界を楽しみました。

- これは橋といい、幕府が歌舞伎の上演を認めただ目じるしでした。橋にはそれぞれの芝居小屋の座敷が入っていました。
- あ
  - い
  - う

写真の★で示したものは、屋根の上に設置された「天水桶」と呼ばれるものです。ここには雨水がためられていますが、何のために使われたと思いますか。当てはまるものを書きましょう。

また、抜けているところに線を描いて橋を完成させましょう。

## H 江戸一番の盛り場 両国

火事の多かった江戸では、火が燃え広がることを防ぐために火除け地という広場が設けられていました。そこにはやがて屋台や見せ物小屋が立ち並び、たくさんの人が集まるようになりました。こうして誕生したのが「盛り場」です。両国橋の西詰は江戸を代表する盛り場のひとつです。

この模型にある橋の名前は何か。

橋の名前 【両国橋】

この写真、屋台の天板が売っているように見えます。このほかにも売られているものが売られていたのが、模型を手がかりに調べてみましょう。

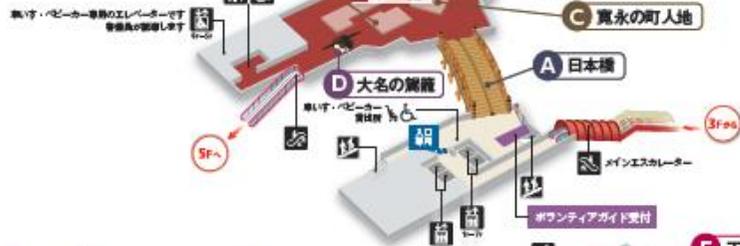


マップH (両国橋西詰)

- 野菜  
など

両国橋はとてにぎやか

## 6F



## 5F



江戸東京博物館  
常設展示室  
案内マップ

出OBSFです。  
ばく、千両ちゃん、日本橋の餅干屋屋味がモデルだよ。

# C くらべてみよう 大名屋敷と町人地

寛永期の江戸における大名屋敷と町人屋敷には、それぞれ特徴がありました。

Q1 模型「寛永の大名屋敷」と模型「寛永の町人地」にある町人屋敷を比べると、どのような違いがあるでしょうか。それぞれ書き出してみましょう。



マップC (寛永の大名屋敷)

◆住人はだれか……  
◆建物の大きさ……

「大名 家族 家臣」  
「大きい」



マップC (町人の町人地)

◆住人はだれか……  
◆建物の大きさ……

「町人」  
「小さい」

# D 大名駕籠に乗って

参勤交代によって全国の大名は、江戸にも屋敷を作り、領地との間を往復することになりました。車も電車もない時代、全国の大名たちは駕籠に乗って江戸にやってきました。この駕籠は、美作因幡山藩（現在の岡山県）の藩主が実際に使った駕籠を複製したものです。



マップD (大名の駕籠)

Q1 この駕籠は何人かかっていたのでしょうか。

「4人」

Q2 駕籠の重さは、およそどれくらいだと思いますか。

う 100 kg  
あ 30 kg  
い 60 kg  
え 50 kg

Q3 参勤交代は、どのような目的を果たしたのでしょうか。当てはまるものを3つ選びましょう。

う 参勤交代は、領地との往復を目的としたものでした。当時は馬車もなかったため、駕籠が利用されました。

「あ」

# E 体験しよう！



マップE (まとい)

Q1 江戸時代、薪炭を使った御火消は48箱に分かれていました。薪炭は火事場などの箱が担出しているかをします。台として使われました。では、この薪炭は何箱のものでしょうか。

「す 箱」



マップE (肥料)

Q2 千両とは江戸時代野菜を作るための大切な肥料でしたが、これにはある意外なものが原料に使われていました。何が利用されていたのでしょうか。

「排せつ物」



マップE (千両箱)

Q3 千両箱は、小判を入れるための箱です。小判1000枚を入れた千両箱の重さはおよそどれくらいでしょうか。

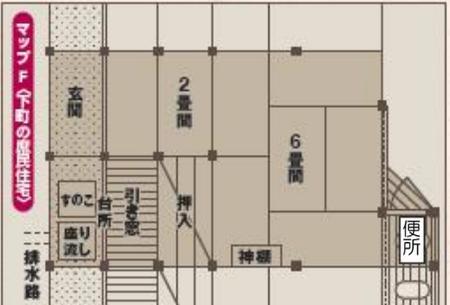
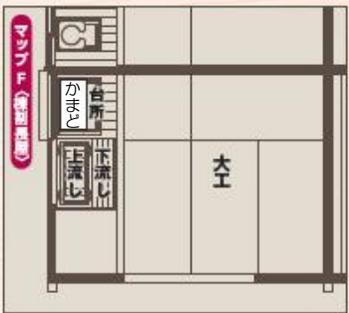
「14 kg」

# F 江戸住まい拝見

ガスや電気がなかった時代、人々はどのような生活を送っていたのでしょうか。また、暮らしのスタイルはどのように変わっていったのか、江戸時代の町人が住んでいた「棟割長屋」模型（江戸ゾーン）と、昭和初期の「下町の庶民住宅」模型（東京ゾーン）をくらべてみましょう。

くらべてみよう  
庶民生活の今昔

Q1 「棟割長屋」と「下町の庶民住宅」の模型や模型解説にある見取り図をよく見て、①に当てはまる言葉を書き込みましょう。



Q2 それぞれの部屋の用途を下の写真から読み取り、②に当てはまる言葉を書き込みましょう。



「照明」



「洗濯」



「炊飯」

# G 絵草紙屋と三井越後屋

江戸時代のお店をのぞいてみよう

◆絵草紙屋  
江戸時代には、浮世絵が大衆文化として流行しました。絵草紙屋では、主に浮世絵などが販売され、人気がありました。この模型は、和泉屋市兵衛の店（甘泉堂）を復元したものです。



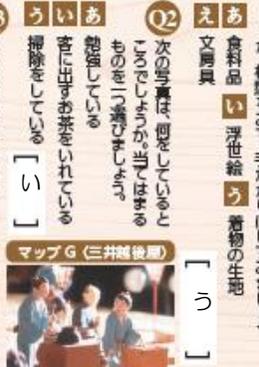
マップG (絵草紙屋)

Q1 絵草紙屋で主に売られていたものは、浮世絵のほかに何がありましたか？

う 書籍  
あ かんざし  
い 文房具  
え 文房具  
お 文房具

「あ」

◆三井越後屋  
三井越後屋は伊勢松坂（現在の三重県）の商人の子三井高利が1673年、江戸に開いたお店で、現在の三越百貨店の前身です。商売上手だった彼は江戸一番の大商人になりました。



マップG (三井越後屋)

Q1 三井越後屋で売られていたものは何でしょうか。種類をみて、手がかりにしてみてください。

え あ 食料品  
い い 浮世絵  
う う 着物の生地

Q2 次の写真は、何だか知っているところでしょうか。当てはまるものを①に書き込みましょう。

う い あ

Q3 次の写真では、各と店の者が相談しながら、商品を選んでいます。その天井に吊り下げられている紙には、何が書かれていますか？

う 商品の名前  
い 商品の名前  
あ 各売り場の担当者の名前

「う」

